

# 名寄市地域公共交通活性化協議会

平成21年6月9日設置



名寄市

## 概要

名寄市は、バス利用者が年々減少し、市の財政を圧迫しているところ、生活交通を確保するため、新たな公共交通に関するサービスや魅力を構築し利用拡大を図るほか、利用者ニーズを踏まえた新たな交通方策の導入を図る必要がある。このため、市内バス路線の見直しや農村部と市街地を結ぶコミュニティバス・乗合タクシーの導入、一般住民混乗によるスクールバスの活用等の調査検討を実施する。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(名寄、風連、東風連、日進、北星、智恵文、智北駅)
- ・名士バス(株)(市内6路線、郊外5路線)
- ・道北バス(株)(郊外2路線)
- ・士別軌道(株)(郊外1路線)
- ・JRバス(株)(郊外1路線)
- ・北海道中央バス(株)(都市間1路線・道北バスと共同運行)
- ・スクールバス(5路線)
- ・医療バス(智恵文地区⇄市立病院通院患者送迎)

### ○地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用者の減少等による収支の悪化
- ・路線バスの運行の効率化及びスクールバスの有効活用
- ・交通空白地域の利便性確保

### ○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・交通空白地域におけるデマンド型交通の試験運行

### ○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編
- ・デマンド型交通やコミュニティバスの導入
- ・スクールバスへの一般住民の混乗



国土地理院発行20万分の1地勢図より

# 名寄市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

## ● 主な調査の実施内容

- 現況交通実態調査
  - ・ 各種統計資料により人口、世帯、公共交通の概要調査(H22.11.7~11.13)及び市内バス路線の住民移動実態、乗降状況の調査を実施(H23.1.10・11)
- 利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
  - ・ 市内の郊外地区1,120世帯を対象に、路線バスの利用状況やデマンド運行方式の利用意向を目的としたアンケート調査を実施(H22.12月~H23.1月 回収率約26%)
- 廃止予定バス路線区間におけるデマンド方式の試験運行
  - ・ 利用者が減少している下多寄線地域を対象に、デマンド型交通の試験運行を実施(H22.11.1~12.31、H23.3.1~3.31)
- その他の調査等
  - ・ 廃止予定バス路線地域の住民を対象に、小型車両によるデマンド運行方式に係る利用者説明会を開催(H22.10.16)

◆ 協議会開催状況

4回開催

◇ 分科会等開催状況

5回開催(専門部会)

開催状況は平成22年度中のもの(開催予定を含む)

## ● 予定している主な連携計画の内容

- 市内循環バスの再編(実施主体:名士バス(株)、実施時期:H23~)
  - ・ 市民循環バス3路線の見直しを行うため、実証運行(3年3ヶ月)を経て路線や運行体系を検討するとともに、H27年1月に再編した循環バスの運行を開始
- デマンド交通の導入(実施主体:名寄市、三浦ハイヤー(株)、名寄交通(株)、(有)川原観光、実施時期:H23~)
  - ・ 廃止予定バス路線区間の下多寄線をデマンド型交通へ転換
- コミュニティバスの導入(実施主体:名寄市、実施時期:H25~)
  - ・ 風連地区におけるバス利用の利便性を向上するため、コミュニティバスを導入
- 利用促進に向けた取組の実施(実施主体:名士バス(株)、実施時期:H23~)
  - ・ 市内小学校の児童を対象に、市民から募集したボランティアを講師に迎え「バスの乗り方教室」を年1回実施

## 自己評価のポイント

乗降調査、アンケート調査、試験運行等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において専門部会も開催しながら合意形成を図っている。

## 二次評価の方向

- 次に掲げる点についてアドバイスする。
- ・ 調査結果のとりまとめ・分析を迅速に進め、その結果を踏まえて明らかになった課題やニーズ等を十分に分析の上、連携計画を策定されたい。
  - ・ 既存の路線バスとの役割分担や乗継ぎ円滑化に留意しつつ、更に具体的なサービス内容について検討されたい。